

運営委員会だより

運営委員 倉林順一

◆今号のすなっぷ取材は利根実業高校の赤城農場を訪問しました。牛、馬、鶏、羊、山羊などに出会った取材陣はまるで動物園にやってきた小学生のように盛り上がっていましたが、日ごろから動物たちに接している生徒たちは落ち着いたもの。優しいまなざしを投げかけながらもそれぞれのテーマにそって課題研究を深めていました。動物たちの黒い瞳を見つめながらの高校生活がうらやましい。

食品文化コースの生徒が考案したという「えだまメンチ」を味わうことができなくて残念な気持ちで帰ってきましたが、意外にも高崎スズランデパートの大群馬展で買うことができました。二人の女子生徒がにこやかに実演販売をしていたのです。大粒の枝豆の歯触りがたまらなく幸せな気分させてくれて利根実への親しみがさらに増しました。



◆前号のすなっぷに登場した群馬大学社会情報学部が地域貢献事業の一環として栗生楽泉園への学習ツアーを企画しました。「草津・栗生楽泉園ハンセン病 共生と隔離の歴史を学ぶ旅」で、すでに10月16日に第1回が実施されました。高崎駅東口に集合してバスで往復。無料。11月23日に第2回が実施されるのでメールで申し込んだところすでに30人の定員がうまったとのこと。それでも自家用車での参加も可能とのことなので参加することにしました。重監房資料館、リーかあさま記念館などを見学しながら学べます。

◆スタジオ楽書会が毎回にぎやかです。最近はおっぱら創作書道に取り組み、古典臨書にない自由を楽しんでいます。でも「自己表現」と身構えとなかなか書き出すことができません。今号の誌上ギャラリーに寄せられた高校生の作品を見ると圧倒されて言葉も出ません。若い人の感性のなんと自由で率直でさわやかなのでしょうか。

◆記事についての読者のご意見ご感想をお待ちしています。記事と関係なくてもOKです。

今後の主な予定

11月 4日 (金) 13時～	スタジオ楽書会 (フォーラム)
11月 18日 (金) 13時～	スタジオ楽書会 (フォーラム)
13時～	教育委員会会議傍聴 (県庁 24階会議室)
11月 25日 (金) 14時～	原発と自然エネルギー部会 (フォーラム)
11月 26日 (土) 14時～	近現代史ゼミ (生涯学習センター) 「なぜ太平洋戦争は止められなかったのか」
12月 23日 (金) 10時～	高生研関プロゼミナール (高崎市労使会館)

育ちと学び No. 30

ぐんま教育文化フォーラム

2016年10月28日 発行

〒371-0026 前橋市大手町3-1-10 教育会館3F

[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP電話] 050-3419-3803

[E-mail] g-kyoken@nifty.com

[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>

